



一般社団法人

日本ヘルスケア歯科学会

事務局 東京都文京区関口1-45-15-104

☎ 03-5227-3716 Fax 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail: center@healthcare.gr.jp

編集代表 林 浩司

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

	年会費	入会金
歯科医師	12,000円	5,000円
その他	3,000円	3,000円
郵便振替口座	00190-7-407895	
名義	一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会	
銀行振込口座	三菱UFJ銀行 江戸川橋支店	
	普 0051809	
名義	一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会	



CONTENTS

学会の新しいかたち みんなでやりましょ、ヘルスケア	p.1	新入会音信/事務局から	p.14
セミナー紹介 ヘルスケア web ベーシックセミナー	p.3	お礼状/このゆびとまれ	p.15
フォーラム【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】からのメッセージ	p.4	ウェビナー開催報告	p.16
歯科衛生士による局所麻酔について/みんなの声を聞かせて!聞かせて!	p.5	第18回認証ミーティング案内	p.19
ウイステリア Pro とアポイント管理職を使ってみよう IV	p.6	書評/譲ります・譲ってください/事務局から	p.20
ウイステリアのタッチパネル入力環境のご提案 2	p.8	Healthcare bibliography / 計報	p.21
ウイステリア Pro ver6.0 リリース	p.9	フォーラム	p.22
コアメンバー・オピニオンメンバーってどんなメンバーなの?	p.10	ウェビナー告知板	p.23
報告 第6期第1回オピニオンメンバー会議	p.12	ヘルスケアミーティング2021案内	p.24

催しものご案内

- ① ヘルスケアオンラインサロン
日時: 2021年5月11日(火)
- ② ヘルスケア Web セミナー
日時: 2021年5月12日(水)
内容: 2021 カリエスマネジメントセミナー 第3回
- ③ ヘルスケア Web セミナー
日時: 2021年5月26日(水)
- ④ ヘルスケア Web セミナー
日時: 2021年6月2日(水)
内容: 2021 カリエスマネジメントセミナー 第4回
- ⑤ ヘルスケアオンラインサロン
日時: 2021年6月8日(火)
- ⑥ ヘルスケア Web セミナー
日時: 2021年6月9日(水)
内容: web ベーシックセミナー第1回
- ⑦ 第18回認証ミーティング
日時: 2021年7月11日(日)
場所: AP 浜松町 & Zoom
- ⑧ ヘルスケアオンラインサロン
日時: 2021年7月13日(火)

重要なお案内

● 以下の同封物をご確認ください

1. 2021 年度会費振込用紙

2021 年度会費未納の方に同封してあります。お近くの郵便局からお早めにお振り込みくださいますようお願い申し上げます(行き違いになりましたらご容赦ください)。

新しい学会のかたち

みんなでやりましょ、ヘルスケア

丸山和久 (コアメンバー)

新たに選出された第6期オピニオンメンバーにより、去る2021年2月28日(日)、会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式でオピニオンメンバー会議が開催されました。オンラインでの開催も3回目となり、事務局スタッフのおかげでとくに大きな混乱もなく運営できました。一堂に会するのも楽しみですが、コロナに限らず日曜開催のこの会議にオンラインだからこそ参加できるケースもあるでしょうし、トータルでみて時間と費用の節約ができているのは間違いありません。ハイブリッド形式を次回以降も続けるかはまだ決まっていますが、オンラインで顔を合わせることが身近になったのは、コロナ禍の副産物といえます。

本学会でオンラインサロンやWebセミナーが定期的に開催されるようになった昨秋から、コアメンバーのなかでオンラインを使った学会の活動について議論してきました。本学会は、ヘルスケア診療を診療所単位で実現するための学会であると同時に、一人の歯科医師や一つの歯科診療所では実現できない問題に取り組むことを目的にしています。その問題とは医療、教育、資格、社会保険などの制度改革や、研究、学問における共通理解などです。そこでこの度オピニオンメンバーの改選にあたり、メンバーにはいずれかのチームに所属していただき、大きな意味でのヘルスケア診療の実現や一人、一医院ではできない問題に取り組んでいきましょう、と協力をお

願いました。結果新たなチームが15以上立ち上がり、メンバーのほとんどは各自1～3程度のチームに所属することが決まりました（最高は5チーム所属の方がおられます）。まずはオピニオンメンバーからですが、全国の仲間とチームで行うヘルスケア、「みんなでやりましょ、ヘルスケア」です。

またこれまで学会の運営のために必要があって設置されてきた「委員会」や、学会の活動の流れで立ち上がった「プロジェクト」も、今回チームの一つとして整理・再編しました。以下に各チームを記しておきます。（*は新設）

オピニオンメンバーといっても年齢差や経験差のある面識のない者同士が一つのチームになっている場合もあり、なかなかまとまらないチームも出てくるかもしれません。ただ多くのチームがWebでディスカッションして、学会、会員、自らのために何かをまとめあげようとしてくれるはずです。まだまだ各チームとも自己紹介が終わったぐらいかもしれませんが、まず

は今後のヘルスケアミーティングやニュースレターをご期待ください。何らかの報告が各チームからあがってくるはずで、プロジェクトから成果が出る、新たなプロジェクトに変化する、またフォーラムから会員に有益な情報が発信される、新たな知見が示される…。とても楽しみです。活発な活動やその成果で、学会のあり方が大きく変わる可能性もあると考えています。

そしてチームの中には全会員に何かを呼びかけたり、協力をお願いすることもあるでしょうし、新たなメンバーを募ることがあるかもしれません。そのときはご協力よろしくお願います。会員の皆さんもぜひ積極的に関わっていただきたいと思えます。このチームに入ってみたい、こんなチームがあったらいいのに、などの希望があれば事務局までご連絡ください（各チームの事情、考え方もあるので希望のチームにすぐ加われるかどうかは分かりませんが）。

「みんなでやりましょ、ヘルスケア」でやっていきましょう。

① 委員会；役割は明確で主に既存の組織

会誌編集委員会

ニュースレター委員会

認証委員会

歯科衛生士育成プログラム運営委員会

ウイステリア委員会（別に開発チーム）

企画委員会（旧企画育成委員会、現在は規模縮小中）

運営委員会

WEB委員会

倫理審査委員会

② プロジェクト；具体的な課題があり、何らかの結果や成果が求められる

ペリオノミクスプロジェクト

（大阪大・久保庭先生との共同研究）

認定分科会申請プロジェクト

2021HCMプロジェクト

頒布品新規開発プロジェクト*

コアメンバー診療所長期症例から今後のヘルスケアを考える*

歯科衛生士雇用について*

禁煙支援プロジェクト*

修復物サバイバルレートプロジェクト*

CRASP普及プロジェクト*

③ フォーラム；共通のテーマで集い何かしら学会や会員に示唆、提言、報告を行う（将来のプロジェクトにつながることは大歓迎）

歯科衛生士会議*

フォーラム・臨床を語る*

海外でヘルスケアをやってみよう*

ヘルスケアと欠損*

ヘルスケアと障害者歯科*

ヘルスケアと学校教育、学校歯科医*

フォーラム・（診療所内）グッズ&ひと工夫*

フォーラム・文献に触れよう*

ヘルスケアと赤ちゃん歯科*

ヘルスケアと人生100年時代*

ヘルスケアと訪問歯科*

ヘルスケアと矯正歯科*





ヘルスケア Web ベーシックセミナー (3回コース)

田中正大 (川口市開業)



このセミナーは、1年前にデンタルダイヤモンド社から出版された当学会監修の「なぜ、あの歯科医院はメンテナンス患者が増え続けるのか？」をテキストに、主として入会してまだ日が浅い、もしくはまだヘルスケア歯科診療がよくわからないという会員に理解を深めていただくためのセミナーになります。内容に興味のある会員ならどなたでも参加できます。

テキストの書籍は学会ホームページの会員企画頒布品コーナーから割引価格で入手することができます。できるだけ内容を理解したうえで参加をお願いいたします。

診療所には営業のFAXがよく来ますが、そこには「増患対策」を謳うものが少なくありません。ホームページ制作、セミナー、コンサルティング、書籍、DVD etc...

ヘルスケア歯科診療を実践していけばそのような悩みとは完全に無縁になります。代わりに患者さんが多くなり、予約が逼迫してくる悩みが増していきます。これは間違いありません。

ただ、私たちは増患のためにヘルスケア歯科診療を取り入れてほしいのではありません。結果として患者さん増えますということです。診療所のベースにヘルスケア歯科診療を置き、その上に保存修



復や補綴などを載せていく診療姿勢が、患者さんにとって大きな利益になると考えているからです。

メンテナンス患者が増え続けるためには、患者が定期的メンテナンスの必要性をきちんと理解しなければ始まりません。キーワードは「情報共有」です。

このことは、口腔内写真撮影、デンタルX線撮影、カリエスリスク検査、歯周組織検査などの検査結果の理解率と定期的メンテナンスの必要性理解率との間には相関が認められ、検査の実施率との間には相関が認められなかった¹⁾ことからもいえると思います。

ただ闇雲に検査をするのではなく、検査結果を患者としっかり共有し理解してもらえるように医院のシステムを構築していかなくてはなりません。

この業務は主に歯科衛生士によって担われていますが、医院全体をチームとして患者に対応していく必要があるのは言うまでもありません。

3回連続のこのセミナーには、ヘルスケア歯科診療のエッセンスを惜しみなく組み込みました。ご参加お待ちしております。

- 1) 秋元秀俊. 患者との情報共有と定期的メンテナンスケア. 日本ヘルスケア歯科誌. 2020; 21(1): 40-53.



スケジュールと内容

各回 20:00 ~ 質疑応答時間を含めて 90 分程度 対象：日本ヘルスケア歯科学会会員 各回 3,000 円

第1回 6月9日(水)

メンテ患者の減らないヘルスケア歯科診療所の秘密とは

担当：田中正大 (コアメンバー：川口市開業)

- はじめに
- ヘルスケア歯科診療とは
- 患者との情報共有、それを支えるチーム医療とその継続がカギ
田中歯科での情報共有方法を全て公開します
チーム医療とは？ 田中歯科での事例から

第2回 7月14日(水)

ヘルスケア歯科診療所のはじめかた

「ヘルスケア型歯科医院へ！ 認証まで一気に進んだ2つの医院から」

担当：中本知之 (オピニオンメンバー：神戸市開業)

澤幡佳孝 (オピニオンメンバー：熊本市開業)

- 当初からヘルスケア歯科診療で開業した例
なぜヘルスケア歯科医院として開業したか？
開業から認証までに何が起きてどう解決してきたか？

- 従来型からヘルスケア型に転換した例
どうしてヘルスケア型に転換したか？
転換すると決めて直面した問題とどう対応したか？
転換前と後でスタッフの意識、患者さんからの評価はどう変わったか？

第3回 8月4日(水)

ヘルスケア歯科診療のメリット

ヘルスケア歯科医院はどんな成果を出せるか？

メンテナンス来院者インタビュー調査から

メンテナンスの成果を知る 小児若年者と成人高齢者の長期メンテナンスの成果と症例

ヘルスケア歯科診療の成果を知るためには何が必要か

担当：杉山精一 (代表 コアメンバー：八千代市開業)

- キーワードは時間軸、長期的お付き合い

フォーラム【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】からのメッセージ ウェル baby イング

佐々木 縁 (わたなべ 歯科)

予防とはなんだろう、これは予防型歯科医院に勤めている以上、自然に湧き上がる疑問だと思います。『悪い事態を生じないように気をつけ、前もって防ぐこと』とありますが、その『ことの起こる前から』はいつでしょうか？ ここではまず、口腔のことだけ限局して考えていきたいと思います。

できれば実質欠損や骨吸収が起こる前から、できれば歯肉が腫れる前から、可能な限り早い段階で健康の大切さ、ありがたみを感じ、それを大切に守っていくことができれば、そもそも『予防』という言葉がなくとも健康を有した身体を獲得できるのかもしれない。

大前提として【程度問題だが、一度は悪くなるもの】という認知があれば、『予防』は非常に重要な概念ですが、【良く在り続ける】のであれば、『予防』を意識せずとも健康で在り続けることができるはずです。

不可逆的な要素が多い“治療”でなく、病気に対しての恐れを動機にしている“予防”でもなく、最初から最後まで『健康で在り続ける』ことは、難しいことなのでしょうか？

本来誰も、『良くありたい、良くなりたい』という本能を有しています。患者様のその『良くありたい、良くなりたい』という人間の本質的欲求と、私たち医療従事者の『良くなってほしい、良くしていきたい』という情熱の間に立ちあはだかるものを考えたときに表出するのは、その人の価値観の表れである生活習慣であることがしばしばです。

その価値観から生まれる生活習慣は家族から引き継がれるものであり、それらが連鎖していくことは周知の事実ですが、ほとんどの場合、この生活習慣は『良・不良』の判断がされることはありません。その生活の結果、病や不具合が生じたときにこれまでの習慣を後悔することがほとんどではないでしょうか。そしてそれが表出するほどの症状の場合、歯科医院での治療介入が必要となることがほとんどだと思います。

価値観は、宗教上のものや個人の信念があるものであれば、個の人生として不具合が生じたとしても、それは不具合とは感じないことでしょう。しかしほとんどの生活習慣は、一貫した価値観から生まれるものではなく、自身の感覚や周囲の意見・多様性や情報社会における判断能力低下の中で、自分自身の生

き方を見失い、依存性が高まることによって築かれたものではないでしょうか。

『良く在りたい・良くなりたい』という本能と、『流動的に決定される生活習慣』との間に健康行動への障がいがあるのだとしたら、変わるべきは後者であるはずで、この生活習慣の変容を成功させるカギは、本人の動機の強さと習慣の歴の長さに依存すると考えています。小児を対象に考えると、本人は“親”に言い換えることができるでしょう。

動機を強化するため、臨床の場において関わることも重要なことではありますが、人を変化させることより、本人のやっていることを肯定し、さらなる健康行動に向かって前進していける事の方が健康レベルも高まり、双方アプローチがしやすく、結果として今より更に人生を楽しめることにもつながるのではないのでしょうか。

こうした健康への隔たりにもなり得る生活習慣が形成される前に、歯科の観点から情報を発信することが【赤ちゃん歯科】であり、私自身は、この【赤ちゃん歯科】こそ究極の予防ではないかと考えています。さらにこの【赤ちゃん歯科】で口腔の健康につながる、全身の動きや発達をみていくことは、食事や運動などを取り入れることになり、それが結果として全身の健康に寄与していくことにつながります。健康な口腔は健康な身体に宿る、という風に考えると、健康は一方向からのアプローチでは成立しないということにたどり着きます。

では実際に【赤ちゃん歯科】ではどのようなことを行っているのかを、このニュースレターで連載していきたいと思えます。

更なる展開として当会ホームページ内でのブログなどの立ちあげを予定しておりますので、ご興味ありましたらぜひお付き合いください。



会員サイト内：[赤ちゃん歯科ブログ]



コアメンバー会議より

「歯科衛生士による局所麻酔」について

2021年3月3日に日本歯周病学会が「歯科衛生士による局所麻酔行為に対する特定非営利活動法人日本歯周病学会の見解」^{注1)}を発表しました。これに先立ち、2020年10月に「歯科衛生士による診療補助としての局所麻酔に係わる検討ワーキンググループ」が立ち上がっていたようで、そのメンバーは日本歯科医学会、日本歯科医師会、日本麻酔学会、日本歯周病学会、そして日本歯科衛生士会で、オブザーバーとして厚労省が入っているようです。また、日本歯科医学振興機構による歯科衛生士のための局所麻酔に関する講習会が開催され、それに対して日本歯科麻酔学会が見解^{注2)}を述べています。このような状況

下で歯科衛生士による局所麻酔の問題に関心を持たれている方も多いことと思われます。

私たち日本ヘルスケア歯科学会では、2014年に発表した「歯科衛生士業務（診療補助）に関する業務ガイドライン」^{(http://healthcare.gr.jp/resource/journal/2014/aj14_DHrev.pdf)}の中で局所麻酔についてもすでに取り上げていますが、今回改めて、歯科衛生士による局所麻酔に関して、学会としてどう考えて取り扱うべきか、コアメンバーで協議を繰り返しました。そして、この件に関する新たなプロジェクトを立ち上げることを決め、活動を始めました。（千草隆治）

注1) 歯科衛生士による局所麻酔行為に対する特定非営利活動法人日本歯周病学会の見解

これまで日本歯周病学会は、歯周病の予防・治療をベースにした歯科衛生士による国民の口腔と全身の健康管理を積極的にサポートしてきました。歯科衛生士は歯科医師とともに安全な歯科医療を提供していく上で極めて重要な職種であり、その前提として、必要な知識・技術・態度を卒前および卒後教育で十分に修得することが求められます。その上で日本歯周病学会は、日本歯科医学会専門分科会のひとつとして、浸潤麻酔行為を含む歯周病治療に積極的に関わろうとする全ての歯科衛生士の活動を支援すべく、求められる情報発信や必要とされる教育機会の提供にこれからも尽力します。

令和3年3月3日

特定非営利活動法人日本歯周病学会 理事長 村上伸也

注2) 歯科衛生士のための浸潤麻酔講習会に対する一般社団法人日本歯科麻酔学会の見解

近年、日本歯科医学振興機構などによる、歯科衛生士のための浸潤麻酔に関する講習会が開催されています。本学会にもこの講習会についての問い合わせが数多く来ています。

日本歯科医学振興機構と本学会の間でこれまでに交流や協議が行われたことはなく、本学会とは無関係の団体です。日本歯科医学振興機構が開催している講習会の講師は、本学会が認定している認定医、あるいは歯科麻酔専門医のいずれでもないことも確認しています。加えて、本学会が認定している日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士は、この団体が認定している臨床歯科麻酔認定歯科衛生士とは無関係です。

本学会は、歯科診療における安全管理の推進と啓発を一つの重要な責務と考えています。歯科衛生士は歯科医師とともに安全な歯科医療を進めていく上で重要な職種です。日本歯科麻酔学会は、日本歯科医学会専門分科会のひとつとして、今後も局所麻酔に関する歯科衛生士の教育に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

令和3年2月1日

一般社団法人日本歯科麻酔学会 理事長 飯島毅彦

ニュースレター委員会より

「みんなの声を聞かせて！聞かせて！」

いつもニュースレターを読んでくださっているみなさんに、「読む」だけでなく「参加」していただく「新コーナー」の発表です！

コロナ禍でのヘルスケア活動も試行錯誤しながら、あれよこれよともう1年。なかなか直接会って意見交換することもできません。そこで、みなさんの「声」を集めシェアできるようにアンケートコーナーを作ってみました。

みなさんの積極的な参加が面白いものにしていく『カギ』です！どうぞよろしくお願いします！！ニュースレターの発行と同時にSNS上にもインフォメーションさせていただきます。

ぜひともご協力のほど、よろしくお願いいたします！！

「ヘルスケアのみんなにこんなこと聞いてみたい」といったアンケートテーマも随時募集しています。

というわけでアンケートNo.1は…

「ニュースレター活用してますか？」です。

右のQRコードを読み取りフォームへの回答をよろしくお願いします。（山田美穂）

締め切り：6月15日



ウステリア Pro とアポイント管理職を 使ってみよう! TV (その2)

藤木省三 (神戸市開業)



2) ユーザーレベルと歯式の統一

ユーザーレベルの設定

ウステリアユーザーのなかには、口腔内写真も PerioAssitant のプローピングの値もすべて入力されている方もいれば、PerioAssitant は数値だけ入力している方もおられます。また、口腔内写真は別のソフトを利用している、デンタル X などで該当する数値だけを入れて検証したいという方もあるでしょう。

Ver.6 ではユーザーの用途によってレベルを 3 つに分けました。ユーザーレベル 1 はデータ入力画面を 1 枚にして、PerioAssitant は使わずに初診、再評価、最新のデータを入力します。デンタル X ユーザーの使用を想定しています (図 1, 2)。CRASP はもちろん使用可能です (図 3)。

ユーザーレベル 2 は PerioAssitant を使うが、プローピングの値までは入力しないユーザーを想定しています (図 4, 5, 6)。ユーザーレベル 3 は PerioAssitant でプローピングの値も入力するユーザー向けです (図 7)。これまでのように 6 点表示の画面 (図 8) に加えてリスク部位がわかりやすいカラー表示も追加されています (図 9)。

歯式の統一

バージョンアップとともにリレーションされるファイルが追加されたため、DMFT や歯数をそれぞれのファイルに入力しなければならなくなっていました。その結果エラーが生じる可能性が高まっています。

そこで、Ver.6 では歯式を入力するファイルを新たに作成し、そのデータをウステリアや PerioAssitant で参照するシステムに変更しました。歯式のファイルでは、DMFT と残存歯のデータを記録することができます (図 10)。Ver.5 からバージョンアップする場合は、これまで PerioAssitant に入力されている最新の情報をコンバートできるようにしています。

患者情報管理データベース

ウステリア Pro for Mac

Ver. 6.0



図 1 ユーザー 1 のメニュー画面



図 2 ユーザー 1 データ画面

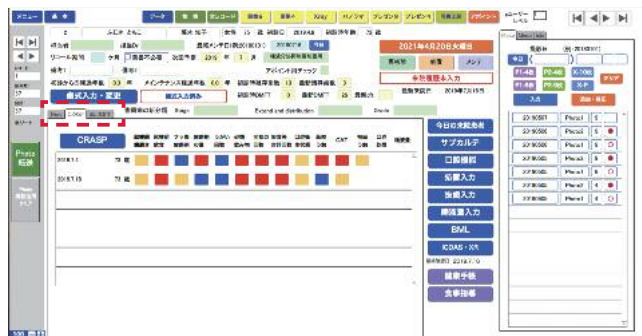


図 3 Perio, CRASP, dft, DMFT はタブで切り替えます。

患者情報管理データベース

ウステリア Pro for Mac

Ver. 6.0



図 4 ユーザー 2 または 3 のメニュー画面



図 5 ユーザー 2 歯周病画面

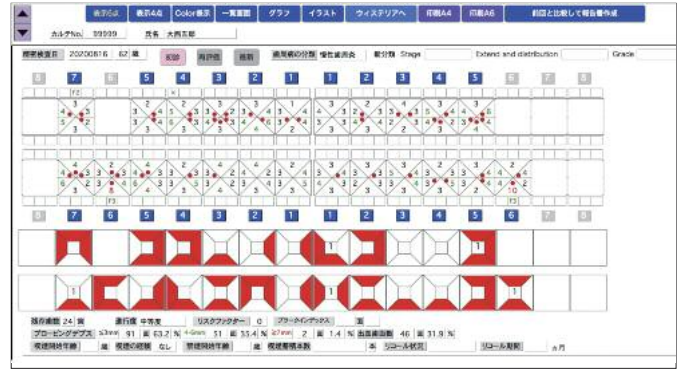


図 8 ユーザー 3 PerioAssistant 表示 6 点画面



図 6 ユーザー 2 PerioAssistant 一覧表示画面



図 9 ユーザー 3 PerioAssistant Color 表示画面



図 7 ユーザー 3 歯周病画面

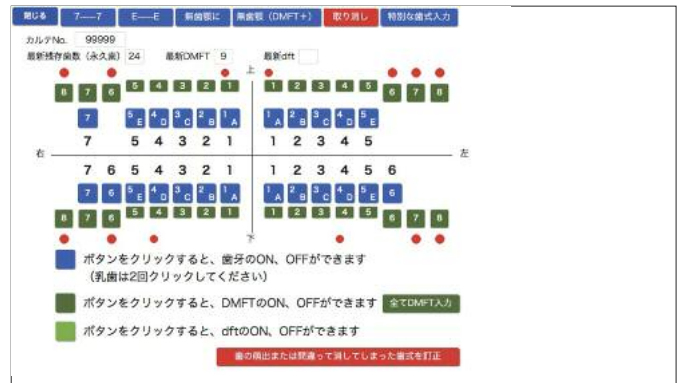


図 10 歯式入力画面 DMFT と残存歯を記録

《FileMaker でソフト作り：2》

今回は、私の術後の体調を記録するソフトです。「Today」ボタンをタップすると今日の日付が入ります。ノートや手帳に記録しておいても、いつの間にかどこかにいってしまう経験はありませんか？ 毎日使う iPhone なので忘れることもありません（図 11）。

ゲームは、数字当てゲームです。昔友人たちと遊んだ、「1 ストライク 2 ボール」という遊びをゲームにしてみました（図 12）。3 桁の数字を当てるゲームです（遊び方はゲームを開いた画面から入ることができます）。結構頭を使うゲームですが、思いがけず孫が熱中して遊んでいました（図 13）。



図 11 VitalData



図 12 数字あてゲーム



図 13

前回と今回紹介のソフト（FileMaker App）は会員ホームページ（FFS；Fujiki FileMaker Soft）からダウンロードできます。FileMaker Go14 以上または FileMaker Pro14 以上が必要です。

ウイステリアの タッチパネル入力環境のご提案 2

森 一弘 (学会認定ウイステリアサポート
技術者 アクセス代表)



前回 (vol.24 no.1) の「タッチパネルモニタ導入」に引き続き、「Windows タブレット導入」のご提案です。

Windows タブレットの導入

Windows タブレットの接続イメージ写真 (写真1) をご参照ください。

タッチパネルモニタとの大きな違いは、データの処理を行う端末本体にタッチパネル機能がついていることです。Windows と限定していますが、現時点で Mac にはタッチパネル機能のついたマシンがありません。Apple 社としては、タッチパネルの専用マシンは iPad であるという位置づけのようです。もちろん iPad も優秀で使いやすいのですが、Windows タブレットの方ができることの幅広さが勝るため、こちらを推奨例としています。

写真1ではウイステリアのネットワークと Windows タブレットを WiFi で繋ぐ無線 LAN、Windows タブレットとセカンドモニタと繋ぐのも、同じく WiFi 接続で画面表示するという仕組みです。写真1では、Windows タブレット画面に CRASP、



写真 1

セカンドモニタ画面に9枚写真という別々の表示がなされているのがわかります。

Windows タブレットは、特に特殊ではなく一般的な Windows マシンなので、レセコンやエックス線写真のソフトとも同居できます。大画面のセカンドモニタを繋ぎ、大画面でエックス線写真画像表示、タブレットでウイステリア入力といった使い方ができます。もちろん普通のデスクトップパソコンと併用するのもよいのですが、1台の方が導入コストも安くすみますのでお勧めです。

前回のタッチパネルモニタ編で、「端末機はできるだけ有線 LAN で繋いだ方がよい」と述べたとおり、本当は Windows タブレットも有線 LAN でネットワークに繋がりたいのが本音ではありますが、機動力を生かすことを優先して、今回ケーブルレスのご提案をしてみました。

先ほど、「Windows タブレットの方ができることの幅広さが勝る」と表現しましたが、具体的に言うと、ウイステリアで iPad を使う場合、「写真の取り込みができない」「写真表示する場合、事前にパソコン操作が必要」といった制限があります。また、レセコンやエックス線写真ソフトでも iPad が使えるものもあるようですが、あくまでサブ機として限定的な使い方になることが多いです。

ただ、もちろん iPad もお勧めできるマシンですので、Windows タブレットとの併用で、例えば CRASP は iPad で入力するなど、場面によって使い分けをすればより効率化が図れることでしょう。

最後に、前回のタッチパネルモニタに関連することですが、2021年5月現在で、無線接続できるタッチパネルモニタは、まだほぼ実用化の状態にありません。ただし、クラウドファンディングで資金を集め、開発に取り組む企業が出てきました。タッチパネルモニタも無線接続で使う時代が、すぐ近い将来に来るでしょう。私個人的にはそれが一番のお勧めです。



☆ アクセス

〒 842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13
TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767 携帯 090-1920-7894
URL <https://www.access-dental.jp/>
URL <http://www.access-pcdoc.jp>
E-mail kazu@access-pcdoc.com

SNS でも情報発信しています！

学会ホームページの更新情報 (セミナー・イベント情報) を
ほぼ随時発信中！
医院のスタッフの方もどなたでも登録 OK！





患者情報管理データベース

ウイステリア Pro Ver. 6.0

リリース!!



待望の新バージョン【ウイステリア Pro ver.6.0】の発売のお知らせです。カリエスリスク・アセスメント・フォーム「CRASP（クラスプ）」を標準装備したウイステリアの新バージョンが遂に発売になります。

日本ヘルスケア歯科学会は、その前身の研究会発足時から、カリエスリスク検査を活用して予防ケアとメンテナンスケアを重視することを特徴としてきました。ウイステリアは、そのためのツールとして開発されたと言っても過言ではありません。そのためファイルメーカー・テンプレートとして開発されたウイステリアは、患者基本情報のほかカリエスリスク検査結

果とそのレーダーチャート表示、歯周組織検査結果の管理、口腔内写真の管理と表示を基本仕様としてきました。そして個々の診療室の診療情報のデータベースを構築し活用するために、来院履歴、処置履歴、抜歯履歴、歯周病データの管理・活用のためのペリオアシスタント、アポイント管理職との連携、そして多様な検索・集計機能を追加してきました。

ウイステリアは、D. Bratthall の考案した「カリオグラム®」の検査項目をレーダーチャートに表示することを特徴としてきましたが、新しいバージョンでは、本学会の標準的なカリエスリスク・アセスメントの形式となったCRASPがメインになります。



○ ウイステリア ver.6.0 の新しい機能

新たに加わるポータル機能（ウイステリアを入口にした追加機能）は、CRASPをはじめとした次の機能です。

- ・ CRASP
- ・ 問診票
- ・ サブカルテ
- ・ 歯式入力（一歯単位での一元管理）
- ・ 販売品管理（窓口販売品の販売実績記録）
- ・ 口腔機能管理（小児・高齢者の各種口腔機能記録）

※推奨 FileMaker バージョン FileMaker Pro 15 ~ 19

※ FileMaker Pro の購入につきましては、Claris 社サイト（<https://www.claris.com/ja/>）をご参照ください。

○ 頒布価格

新規	60,000 円+消費税
verup ver.5.x ~	20,000 円+消費税
ver.4.x ~	30,000 円+消費税
ver.3.x 以下	新規と同じ

○ お申し込み

このニュースレターに同封の申込書に必要な事項をご記入のうえ、事務局までお申し込みください（アポイント管理職をご使用の場合は、別途カスタマイズが必要になります）。

なお、バージョンアップに際してデータインポート（有料）をご希望の場合は、事務局にお問い合わせください。

希望される診療所は、有限会社 秋編集事務所との間で秘密保持契約（診療上知り得た個人情報の秘匿に関する秘密保持契約）を締結したうえで作業契約を結び、ユーザー毎に設置したデータ転送専用のサーバーを使ってデータの受け渡しをします。

第6期 コア・オピニオンメンバーってどんなメンバーなの？ コアメンバー・オピニオンメンバーってどんな役割をしてるの？

第6期オピニオンメンバーは、2021年2月28日の第6期第1回会議に参加し、コアメンバーを選出しました。コアメンバーは、互選により本学会の代表、副代表を選出しました（総会報告をご参照ください）。新任副代表の高橋 啓さんと副代表を退任される藤木省三さんの自己紹介をまず最初に掲載します。

なお、オピニオンメンバー紹介は、比較的会員歴の浅い方から順次掲載します。今後のますますのご活躍を期待したいと思います。今回は第6期に留任されたオピニオンメンバー8名を紹介します。（林 浩司）

【自己紹介凡例】

- ① 氏名 開業（勤務）地及び名称
- ② 出身学校（卒業年）、最終学歴等、当学会以外の所属学会、他役職
- ③ 当学会入会のきっかけ、関わり
- ④ 会員へ一言



- ① ふじきしょうぞう 藤木 省三 兵庫県神戸市開業 大西歯科 院長
- ② 大阪大学歯学部（1980年卒）
- ③ 日本ヘルスケア歯科研究会設立メンバーです。今回病気になり、改めてヘルスケアの理念が正しかったと確信しました。
- ④ 「子どものむし歯を一本も作らない」「歯周基本治療で治し切る」など高い目標を持ちましょう。現実はその簡単ではありません。失敗した原因を診療室全体で受け止めて改善の繰り返しは不可欠です。そのためにはウイステリアなどに記録しておかなければスタートは切れません。



- ① たかはしあきら 高橋 啓 愛媛県南宇和郡開業 たかはし歯科 院長
- ② 北海道医療大学歯学部（1994年卒）最終学歴は広島大学大学院（補綴） 日本歯科補綴学会、日本口腔インプラント学会、日本歯周病学会 他役職で大きなものは、南宇和歯科医師会会長を4月からしています。
- ③ 開業前に予防歯科を勉強しようと思い、ホームページから入会したのがきっかけです。
- ④ 藤木先生と交代で副代表をすることとなりました。皆さんよろしくお願ひします。今まで多くの先輩医院に教えてもらい、助けてもらったことを次へ続く人に伝え、更に発展させることができたらと思っています。皆で楽しくやりましょう。



- ① いとうゆうき 伊東 佑記 福岡県大野城市開業 医療法人 id 白木原歯科 院長
- ② 九州歯科大学歯学部（2006年卒）九州歯科大学大学院卒業 日本補綴歯科学会、日本口腔インプラント学会、ヘルスケアウエスト
- ③ 大学院時代にヘルスケア診療に興味を持ちヘルスケアウエスト研修会に参加したのがきっかけです。その後2014年日本ヘルスケア歯科学会入会。第1回実践セミナー受講。2019年認証診療所取得、編集委員、認定分科会対策委員。
- ④ 臨床や学術を語る能力は持ち合わせていませんが、福岡の美味しいお店を教えることはできます。よろしくお願いいたします。



- ① にしむらまこと 西村 誠 大阪府泉大津市開業 西村歯科 院長
- ② 愛知学院大学（2010年卒） 日本歯周病学会
- ③ 先代の院長である父がヘルスケア型診療を行っているのを近くで見て一緒に診療をしていく中では必須であると感じ、最初は勤務医として参加させていただきました。なかでも間違いなくこの道が良いと思えたきっかけは第一回合宿型ヘルスケアセミナー（藤木塾）であったと思います。
- ④ ヘルスケアの良い所は人とのつながりであると感じます。患者さんとのかわわり、スタッフとの良い関係構築。そしていつも相談に乗ってくださるヘルスケアの先生方に感謝しています。



- ① さとう ゆう 佐藤 裕 岩手県盛岡市開業 ゆう歯科医院 院長
- ② 岩手医科大学歯学部 (1991 年卒)
- ③ 2015 年に仙台で行われた 1day セミナーに参加しました。藤木先生、田中先生、中本先生のお話を聞き、「自分がやりたい歯科医療はこれだったんだ！」と確信し、学会に入会しました。
- ④ 大学に入るまでも入ってから遠回りしていて、実は臨床経験はそれほど長いわけではありません。ご指導お願いいたします。



- ① おくやま ひろみ 奥山 洋実 非常勤歯科衛生士 新宿有田歯科医院 (歯周病専門医) で週 3 日臨床 週 3 日外部歯科医院に訪問し歯科衛生士研修 スタディグループ奥山会主宰
- ② 太陽歯科衛生士専門学校 (1986 年卒 6 期生)
- ③ 30 代に当時勤務していた田中歯科クリニック (川口市) で正会員として入会。ヘルスケア歯科衛生士として学び続け会員同士の交流をしたいと思います入会しました。その後山形県酒田市に転居したため 11 年間退会しておりましたが、6 年前に東京に転居をしたことをきっかけに再度正会員として入会しました。
- ④ ヘルスケア歯科診療を目指す同志を増やしていけるように歯科衛生士として発信していきたいと思っています。よろしくお願いします。



- ① やすおか だいすけ 安岡 大介 兵庫県加東市開業 ミライノデンタルクリニック 院長
- ② 大阪歯科大学 (2012 年卒) 日本顕微鏡歯科学会, 日本顎咬合学会
- ③ 卒後 3 年目で実家の歯科医院を継承することになり、セミナーで知り合った勤務医の先生の勤務先を見学 (てらだ歯科クリニック・姫路市)。その後、ヘルスケア実践セミナー (通称藤木塾) に参加。
- ④ 私は「地域や個人の診療内容は異なるが、ヘルスケアはすべての基礎」という言葉に感銘を受けました。現在歯科医師卒後 10 年目・開業 7 年目となり、当学会とこれから開業する若い先生の架け橋となるよう活動していきたいと考えています。



- ① ごとう みつなり 後藤 光成 山形県山形市勤務 後藤歯科医院
- ② 北海道大学歯学部 (2003 年卒) 日本顎咬合学会所属
- ③ 勤務医時代から予防歯科に携わっていましたが、大学の先輩であった山本修平さんの勧めで 2017 年に「ヘルスケア型診療導入セミナー仙台」に参加したことがきっかけで日本ヘルスケア歯科学会に入会、第二回実践セミナーに参加しました。禁煙支援プロジェクトメンバー
- ④ 人と話すのが苦手な性格ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



- ① たばな たけし 田幡 壮 埼玉県朝霞市開業 わたしの歯医者さん 院長
- ② 日本歯科大学 (2013 年卒) CHP 研究会, マイオブレイスメンバー, 顎顔面口腔育成研究会所属
- ③ コアの渡辺先生に実践セミナーを紹介していただき、参加をきっかけに入会しました。
- ④ ヘルスケア歴は短いですが、見掛けたら気軽に声をかけてやってください^^



- ① まるやま しゅうへい 丸山 修平 埼玉県深谷市勤務 丸山歯科医院
- ② 日本歯科大学 (2011 年卒) 日本顎咬合学会
- ③ 父が当学会に研究会の頃から入会していました。その影響で歯科医師になりたての時からヘルスケアミーティングや THG (東京ヘルスケアグループ) の活動を通して関わりは持っていました。第 2 回実践セミナーを受講し、藤木先生のお話を聞いてからヘルスケアの魅力をより感じるようになり入会しました。
- ④ これから先の歯科の未来にはヘルスケア学会の活動が非常に大切だと感じています。ヘルスケア歯科学会での学びを大切にしていき、日々の臨床に積極的に生かしていきたいです。自分にできることを積み重ねていけたらと思います。よろしくお願いします。

【第6期】第1回 オピニオンメンバー会議開催 報告

新執行体制決まる



年初のオピニオンメンバー選挙によって信任された第6期のオピニオンメンバーが参加して、2021年2月28日に第1回オピニオンメンバー会議が開催されました。今回は、AP浜松町（芝パークビルB館地下1階）のRoom Aのオフラインのリアル会場とZoomによるオンラインのハイブリッド形式での開催となりました。リアル会場には、関東地方のコアメンバーのほか、数人の歯科衛生士さんらが参加したにとどまり、主にオンラインの会議となりました。

杉山精一代表の挨拶の後、議長に齋藤 健さんを選出し、齋藤議長がリアル会場参加の奥山洋実さんと島野圭介さんを議事録署名人に指名し、冒頭、司会の田中正大専務理事から永年会員に謝辞があった後、議長が出席66、委任状14の参加により会議の成立を宣言し、以下の議案に沿って審議が始まりました（詳しい議事録はホームページに公開されています）。



議案（審議事項）

- 第1号議案 令和2年度事業報告および決算報告
令和2年年度会計監査報告
- 第2号議案 第6期コアメンバーの選出
- 第3号議案 令和3年度事業計画

議案（意見交換）

- 第4号議案 各種委員会 プロジェクトチーム フォーラムに属して



詳しくはホームページの議事録をご参照いただきたいのですが、第1号議案のうち決算報告については、秋元（事務局長）から「正味財産増減計算書の収入も支出も全て前年度比大幅減、経常収支で前年比1,046万6千円減、経常経費で1,188万4千円減、そしてその結果として、正味財産は前年度比74万2千円減となっている。これはCOVID-19の影響で主な行事がなくなったことによるものだが、ヘルスケアミーティングや歯科衛生士セミナーの中止の影響だけではなく、企画頒布品の売上も大幅に減っている。また、COVID-19の影響がないはずの受取入金26万8千円減、受取会費70万7千円減に留意いただきたい。会員数は、歯科医師、歯科衛生士とも漸減傾向である」と報告があった（財務諸表は別に掲げる）。

次いで河野正清監事より監査結果が報告された（右ページに報告書を示す）。

第2号議案の第6期コアメンバーの選出では、事前に配布された候補者名簿を参照し、オンラインでの信任投票に移った。投票システムの設定不備で時間を要したため、河野監事、渡辺勝コアメンバーからの発言を挟んで投票が行われ、候補者名簿どおり全員重任のかたちで信任された。

この後、オピニオンメンバー会議を小休止として、臨時コアメンバー会議を開催、互選により以下のとおり新しい役員が選任された。

- 代表 杉山精一（重任）
- 副代表 齋藤 仁（重任）
- 同 高橋 啓（新任）
- 監事 鈴木正臣（重任）
- 同 河野正清（重任）

再開したオピニオンメンバー会議にて新役員が報告され、杉山代表は「これが最後、あと2年間しっかり務めさせていただきたい」と述べ、齋藤副代表は「最後かもしれないので、できる限りのことをやりたい」、新任の高橋副代表は「この学会を、残る組織にしたい」と抱負を述べた。

第3号議案、令和3年度の事業計画案は説明と質疑の後、オンライン投票にて可決承認。続いて、新任オピニオンメンバーの自己紹介を挟んで、第4号議案「各種委員会 プロジェクト



チーム フォーラム」について丸山和久さんが、趣旨と経緯を報告し、新オピニオンメンバーの所属について紹介した。続いて各グループについて担当のコアメンバーが趣旨を話し、最後にブレイクアウトルームと呼ぶオンライン上の小部屋に分かれ

てグループごとに顔合わせと協議の時間をとった。齋藤議長が閉会を宣言し、オンラインながら質疑と発言が活発な3時間におよぶ会議の幕が閉じられた。

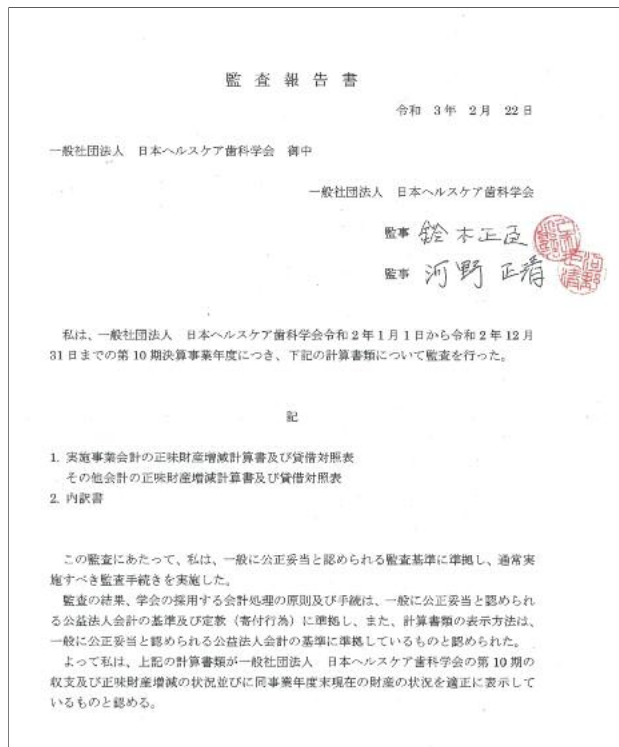


前年度対比要約 (資産・負債・正味財産)

	2020年度	2019年度	増減額
現預金	56,365,274	58,465,806	△ 2,100,532
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
未収消費税等	0	0	0
棚卸資産	1,788,718	1,442,512	346,206
有形固定資産	112,886	209,639	△ 96,753
リース資産	0	0	0
資産合計	58,266,878	60,117,957	△ 1,851,079
未払金	3,035,885	3,254,603	△ 218,718
前受金	20,000	95,000	△ 75,000
預り金	68,300	69,000	△ 700
前受会費	7,128,000	7,943,000	△ 815,000
前受入会金	34,000	33,000	1,000
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	0	0	0
リース未払金	0	0	0
負債合計	10,356,185	11,464,603	△ 1,108,418
正味財産	47,910,693	48,653,354	△ 742,661

前年度対比要約 (収益・費用)

	2020年度	2019年度	増減額
受取入会金	182,000	450,000	△ 268,000
受取会費	10,028,000	10,735,000	△ 707,000
事業収益			0
企画商品販売収入	1,830,980	2,393,560	△ 562,580
セミナー等収入	2,050,650	10,594,150	△ 8,543,500
受取寄付金			0
雑収益	225,805	611,636	△ 385,831
収益合計	14,317,435	24,784,346	△ 10,466,911
事業費			
事業原価	1,267,381	2,184,646	△ 917,265
事業経費	5,345,460	16,313,175	△ 10,967,715
管理費	8,447,255	8,470,673	△ 23,418
費用合計	15,060,096	26,968,494	△ 11,908,398
当期正味財産増減額	△ 742,661	△ 2,184,148	1,441,487



新入会者音信

2021 年度の新入会者数

	2020 年			2021 年			合計
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
歯科医師	3	0	2	4	7	4	20
歯科衛生士	0	1	0	0	4	2	7
歯科技工士	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	1	3	0	2	3
法人	0	0	1	0	0	0	1
合計	3	2	4	4	11	8	32

◆ 新入会 法人会員

株式会社アスア (名古屋市)
 事業内容：ホームケアサポートを目的としたメッセージ配信サービス

新入会者紹介

高澤淳仁 (歯科医師)

2019 関東実践セミナーに参加を機に入会させていただくことを決めました。ヘルスケアの先生方のお話は共感できることが多く、自分の診療所をステップアップする為にも学ばせていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

藤江 晋 (歯科医師)

「メンテナンスは常識に」なったのだろうか？ 定期的な歯石取りのくり返しをメンテナンスと思い込んでいないだろうか？ 日本人に口腔の質を上げるには、まだまだ医療の提供者の改革が必要だと、都心に移転して痛切に感じる日々です。

門川雅哉 (歯科医師)

う蝕や歯周病は生活習慣病と学んだ学生時代。努力すれば予防できるとしていました。しかし、現実はその甘くなく、地域の意識の低さ、デンタル IQ の低さに驚きました。まずは自分自身の知識を広げ、ひいては地域の IQ や意識の向上に勤められる歯科医師になればと思い入会致しました。

森岡 彬 (歯科医師)

2021 年 4 月に岩手県にて新規開業を予定しており、「本質を見極めた予防歯科」を実践するためには何が必要なのか考えていた所、こちらの学会の存在を知りました。患者利益を第一に考えた歯科医療を皆様と一緒に

学んでいきたいと思っております。まだまだ未熟者ではございますが、何卒よろしくお願い致します。

加藤博智 (歯科医師)

これまでに予防歯科について、まともに学んだ事がなく、患者さん一人ひとりにあった予防法の提案に自信がありません。ヘルスケア学会で予防歯科についてしっかり学ばせて頂き、自身の医院の強みにしたいと思います。

吉武 秀 (歯科医師)

渡辺 勝先生にご紹介いただき、入会させていただくことになりました。よろしくお願い致します。

田中俊行 (歯科医師)

今まで学会に所属していないにも関わらず、先輩ドクターや同期の先生方と勉強する機会を頂いていたのですが、これから開業も視野に入れてきた中で深くヘルスケア型診療というものを学びたいと思い、今回入会させていただこうと思いました。これからご指導の芳よろしくお願い致します。

佐々木 縁 (その他)

埼玉県春日部市わたなべ歯科で勤務しております佐々木 縁と申します。わたなべ歯科で『赤ちゃん歯科』を担当させていただいております。この『赤ちゃん歯科』は、乳幼児か

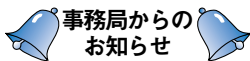
らの口腔育成をサポートするだけでなく、食育や適切な遊び睡眠等多角的な視点から「真の健康とは何か」を捉え、子どもの育成に携わっていただけるのだと考えています。日本ヘルスケア歯科学会に身を置かせていただくことで、これまでにない分野から微力ですが『人々の健康』に寄与できればという所存でございます。

伊藤あゆみ (歯科衛生士)

今臨床でお世話になっている細田歯科医院で奥山さんの研修を受けさせていただきました。患者さんを深く観察し、健康に導く、ヘルスケア型の診療のすばらしさに共鳴し、私も 10 年ぶりにヘルスケアに再入会することを決めました。また、すてきな皆さまにお会いできるかと思うと、ワクワクします。たくさん学ばせていただき、成長していきたいと思しますので、よろしくお願い申し上げます。

岡田友之 (歯科医師)

数年前 CAMBRA を取り入れていたましたが、最近全く診療に取り入れていませんでした。クイントの連載を拝読し、Zoom セミナー受講させていただき、CRASP を当医院でも実施したく、以前から、非常に興味をもたせていただいていた日本ヘルスケア歯科学会に入会させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。



ニュースレター発送の封筒が新しくなりました！

今号の発送より、カラー封筒でのお届けになります。ニュースレター到着が、わかりやすくなります！



歯科衛生士 育成 スログラム

認定歯科衛生士の皆様へ

「認定歯科衛生士 取得ポイントのお知らせ」「認定歯科衛生士 更新のお知らせ」を対象の方に同封いたしました。申請された方で、取得ポイントに誤りがあった場合や、お知らせが同封されていない方は、事務局までご連絡をお願いします。また、「ポイント申告書」を未提出の方は受付いたしますので、ご提出ください。

日本ヘルスケア歯科学会の皆さま

この度は過分なお見舞い、激励、救援物資をいただき、ありがとうございます。

大変恐縮し、感謝しております。直接御礼を伝えられないオピニオンメンバー、コアメンバー、ヘルスケア北海道のメンバーの方もいらっしゃいますので、どうぞよろしくお伝えください。

2021年1月5日に出火し、消火に約12時間もかかりましたが、幸いスタッフや患者さんに怪我がなく、隣近所に延焼しなくて良かったです。

出火から約1ヶ月以上が経過し、気持ちも少しずつ落ち着き、食事と睡眠を取れるようになってきました。1月末から訪問歯科診療は、関係各位の協力のおかげで始めることができました。

今は解体工事、仮設診療室、新築診療室の3つを同時に進めて、前だけを向いており、毎日その日にできることをクリアしていこうと考えております。

レセプトデータは焼失してしまいましたが、ウイステリアのデータが復元できたので、全患者の名前、性別、住所、電話番号、カルテ番号は失われなくて済みました。

現実問題に直面した折、皆さまからのまともなお見舞いや励ましのお言葉は、大変ありがたく、勇気づけられております。

皆さまもどうぞお身体を大切にお過ごしください。

本当にありがとうございました。

2021年2月20日

北海道 南幌町 加藤歯科 加藤久尚



○ヘルスケアマラソン部よりお誘い 齊藤 仁 (札幌市開業)

ようやく暖かくなり、ランニングも心地よい季節になりましたね。リモート中心の昨今、そろそろリアルに集まってみたくなりました。

ということで、マラソン大会のお誘いです。

5月30日に淡路島でリレーマラソンが行われます。これにみんな参加しませんか？

一周1キロの周回コースのリレーですので、走力に応じて自分の走る回数を決められ、誰でも参加できそうです。

(走るのはスタッフさん、先生は応援でもOKです！)

コロナ禍の状況によっては大会自体が中止になったり、人数が揃わなければ、申し込みしませんが、現時点で興味のある方は齊藤までご連絡ください。(hito-4@mse.biglobe.ne.jp)



○勤務医グループ「ROOTS」始めました！ 寺岡徳光 (勤務医・こぐま小児歯科)

今年から勤務医向けのスタディーグループを立ち上げました。契機はコロナ禍で様々な方とオンラインで繋がる中で、同世代の全国の仲間と切磋琢磨できる環境を作りたいと考えたからです。将来ヘルスケア型での開業や継承を考えている勤務医有志で2ヵ月に1度オンラインで集まり、今どんなことを考えているか、学んでいるか、何が必要なのか、情報をシェアしています。また本会副代表の高橋 啓さんにもご協力いただき、先輩歯科医師の立場で講義をしていただいています。

数名でのスタートですが、今後メンバーの成長(開業や継承?)とともに、グループ自体も成長できるような勉強会にしていこうと考えています。

ご興味のある勤務医の方がいらっしゃいましたら、どうぞお気軽に寺岡までお問い合わせください。

(noriteraoka0222@gmail.com)

ウェビナー報告

Web セミナー 2021年 22回～26回
 新ヘルスケアオンラインサロン 2021年 1回
 DH オンラインサロン 2021年 1回

ヘルスケア Web セミナー

第22回 2021年2月24日(水)20:30～ 運営：田幡

抜歯をなくそう！そのためにはまずは歯髄保存だよね。

AIPCの基礎と臨床 part1 基礎編

(パネリスト：斉藤仁)

講演のなかで斉藤仁さんの医院の抜歯本数、非侵襲性歯髄覆罩(AIPC)の治療本数等、年間統計を見せていただきました。やはり統計をとって、自院の現状がどのような状態なのかをしっかりと把握することの大切さをまず教えていただきました。

抜歯をなくすためには、歯髄の保存が大切なのは、わかっていたつもりでしたが、お恥ずかしい限りですが「つもり」なだけでした。自分の臨床を考えると、短期間で治療をやっているという傾向が強く、そのため髓角近くまでエックス線透過像が見えていたら、「直接覆罩？ 麻酔抜髄かな？」と思いながら、治療に臨んでいたなど、深く反省しました。歯科医師免許を取得し、数年は大学勤務で、あちこちバイトに行っていたため、では次半年後となると、辞めていた場合自分が診られなくなることもあり、短期間で何とかしようという考えが、癖になってしまったのかもしれない(←という言い訳です)。いけませんネ、ホント。

適応症の診断は大切になりますが、AIPC後、半年くらい待ってから、再度アプローチすれば、治療時間のコントロールができるというお話もありました。治療中時間をかけてギリギリまで軟化象牙質をとって、スプーンエキスカバータでもうひとかきしたら露髄して… そこからあれこれ準備して… といったことがなくなりますし、何よりも歯髄を温存できます。

勇気をもって、感染象牙質を意図的に残し、「第三象牙質ちゃん！、次に会うときまでにはできてね」と願いながら気長に待つ、そして再度アプローチする。

そういった治療を心掛けて日々診療にあたる。当たり前だけど、できていなかったことに気づかされたセミナーでした。

Part2は臨床編になります。楽しみながら学ばせていただきたいと思います。余談ですが、質問の時間に、以前関東実践セミナーでご一緒させていただいた方が質問をされているのを見て、自分ももっと学ばねばと勇気づけられました。ありがとうございました。(報告：島野圭介 島野デンタルオフィス)

第23回 2021年3月3日(水)20:30～ 運営：田中(勝)

カリエスマネジメントセミナー(1/7回)

カリエスマネジメントの基本 ICDASとXRをマスターしよう (パネリスト：杉山精一)

当院では院内ミーティングを開き、アーカイブ配信のセミナーをスタッフ全員で聴講しました。実際にカリエスマネジメントに関わるスタッフの声を聞きたいと思い、ヘルスケア診療では比較的新人と思われる歯科衛生士の感想を紹介します。

(林 浩司・はやし歯科医院)

私は歯科衛生士となって12年が経ちました。卒業して10年間はヘルスケア歯科ではない別の歯科医院に勤務していましたが、その医院が残念なことに閉院してしまい、その後縁があって、はやし歯科医院に勤務して今年で3年目になります。今回はWebセミナーで勉強できる機会をいただき感謝しています。先輩歯科衛生士や院長からICDASについて一通り教えてもらいましたが、杉山先生のお話を聞いて大変勉強になりました。

前の医院に勤めていた頃は、ICDASについてまったく聞いたこともなく、先生が割ると言われれば準備し、様子をみると言われれば、どのくらい様子みるかすべて先生の判断に任せており、カリエスの深さや進行具合などあまり考えたことがありませんでした。今回、ICDASをしっかり学び改めて歯科医師、歯科衛生士、患者さんと情報共有する重要性を勉強できました。

またクリーニング後、患者さんから「歯が白くなっている所が気になる」という訴えや、咬合面の溝が茶色になっている部分は「クリーニングでは落ちないのなら虫歯なのか」と指摘されることが多かったので、言葉だけでは説明しにくいこともフォトパネルがあることによって、患者さんに説明して理解してもらいやすかったです。

担当患者ではないときでも、前回のコード記録が書いてあって変化が分かりやすく、進行中なのかどうか、どんな状態なのかを患者さんに十分に理解してもらえんと思いました。また目の前のカリエスをどうしていきたいのか、患者さんとのコミュニケーションも大切だと思いました。

(報告：五井測歩 歯科衛生士・はやし歯科医院)

第24回 2021年3月24日(水)20:30～ 運営：河野(雄)

抜歯をなくそう！そのためにはまずは歯髄保存だよね。

AIPCの基礎と臨床 part2 臨床編

(パネリスト：斉藤仁)

今回のセミナーは非侵襲性歯髄覆罩(AIPC)の基礎編を一ヵ月前に受講して以来、待ち遠しく、楽しみにしていました。というのも、斉藤さんのクリニックでは年間20～30本程度し

か抜髄することがない、ということだったので、「かなり AIPC が上手に行われているのだろう、参考にできれば」と考えていたからです。そういうこともあり今回のセミナーへの期待値が非常に高かったのですが、期待以上の内容でした。

セミナーは、斉藤さんのセミナー開始の決まり文句、「みなさんこんばんは。水曜日は Web セミナーの日ということで、今日もお届けしたいと思います」で例外なく始まり、深いう蝕の一症例に AIPC を行うのを、強拡大の画像を順に出しながら解説するという方法で行われました。その画像が実にわかりやすくよかったです。

手技としては、基本的には日本歯科保存学会の「う蝕治療ガイドライン」の AIPC のやり方に沿って進めますが、ガイドライン通りにやらずに変えたほうが良いところがある、とのことで、そこをしっかりと解説していただきました。ここにすべてを挙げることは無理なので、私からみて強調されていて重要と思われたことを列挙してみると、

- ① 浸麻を必ずする。感染象牙質をできる限りとるため。
- ② エナメル象牙境の歯肉側感染象牙質をエナメル質に沿って徹底的にとる。その際エナメル質のチップにより出血をさせないようにするため、回転切削器具ではなく、鋭利なスプーンエキスカベータを使用する。
- ③ 覆髄剤は HY ボンド（ソフト）が最も成績がよく、これを通常の粉液よりも少しやわらかめに練って厚めに盛り、その上にアイオノマーセメントであるフジ IX で仮封する。
- ④ 3 ヶ月後のリエントリー、これを 2～3 回繰り返す。

というものです。（間違っていたり、抜けていたらご指摘ください。）

いずれも画像を見ながら、具体的な器具名もあげて、わかりやすく説明していただきました。これなら私も翌日からすぐできそう、と錯覚してしまいそうでした（笑）。

最後は、「ヘルスケア診療のためには、カリエスの発症予防をすることも重要だが、欠損が増える原因となる抜髄を防ぐために、露髄をさせないテクニックを診療に採り入れることも同じように重要である」という斉藤さん言葉で締めくくられました。（報告：後藤光成・後藤歯科医院）

第 25 回 2021 年 3 月 31 日(水)20:00～ 運営：河野(雄)

やってみよう！禁煙支援

(パネリスト：高木景子)

「禁煙支援は難しい」そう考えていましたが、歯科だからできる関わり方があるんだよと、教えていただきました。まずは、相手を知り、メリットを伝え、方法を知らせる。一番大切なのは、「禁煙はタイミング」で、目の前にいる来院者が今どの時期なのかによって関わり方を変えて、相手との関係を切らさな

いように、長くおつきあいをするということ。

口腔内写真の比較で、良い変化に気づいてもらって禁煙の効果を実感してもらうことが禁煙継続の力になるんだよ、というお話しは記録を採るヘルスケアならではの、と思いました。また、ニコチンパッチの使用方法やタバコについての伝え方、禁煙達成の小さなコツ等、具体的にお話しいただきました..

タイの CM 動画も見せて貰いました。（道でタバコを吸っている大人に子どもがタバコを吸いたいから火を貸してという、大人がタバコはどんなに悪影響があるかを子どもに伝え、その後子どもが、私たちの心配をしてくれたようにあなた自身の心配もしてほしいな、といった内容の手紙を渡すというもの）。2021 年 2 月 3 日の田淵貴大先生の新型タバコの Web セミナーでも見せてもらいましたが、あれはインパクトがありとても考えさせられるものでした。待ち時間に喫煙者にユニットの画面で見てももらったら、効果がありそうだなと感じました。

後半は症例を出していただき、具体的にどのように関わったのかもご説明いただきました。

来院者には健康であってほしい、そのために我々がサポートしますよ、不安なことや何かあったら言ってね、という姿勢でおつきあいをしていくことが大切だなと感じました。

高木さんの医院には禁煙の木が待合スペースに貼られていて、書いてもらった内容を目にすることで自分だけが大変なのではないと思えるだろうし、この医院には他にも禁煙できた人がいるのだと勇気づけられるいい方法だなと感じました。自分もまずできることからサポートをはじめてみます。

(報告：島野圭介・島野デンタルオフィス)

第 26 回 2021 年 4 月 7 日(水)20:30～ 運営：古市

カリエスマネジメントセミナー(2/7 回)

新しいカリエスリスクアセスメント

「CRASP」をマスターしよう(パネリスト：杉山精一)

私は今回セミナーに参加して、今までの自分が行った振り返りとこれから実践していきたいことが増えました。

私自身の現状は CRASP を行う対象が小児（初診時でカリエスがあると自己判断）ばかりになっています。それはカリエスリスクが高いと判断し、特に注意深く状況把握しないといけないと考えていたからです。ですが、こちらの自己判断で CRASP の実施をするしないを決めるのではなく成人、高齢者に向けても実践することで、患者さん一人ひとりの口腔内の現状を把握するだけでなく、今カリエスリスクがなくても何か変化する要因があるかもしれないと考えるようになりました。

また CRASP は質問項目が決まっているので、すぐにでも行うことができ、患者さんとのコミュニケーションを通して、その生活背景、性格なども把握して、一人ひとりに合った指導が

できると思いました。また用紙のみではなく唾液検査を行うことで、明確な数字で患者さんもわかりやすく現状把握ができるので、カリエスリスクコントロールも行いやすいのではないかと考えました。

今回のお話を聞いてからまだ取り組めてはいませんが、繰り返して評価を行ったり検診での再評価を行うとき、改めてCRASPの内容を復習することができたので勉強になりました。これから長い目で見て、患者さんとともに経過を知ることができる楽しさ、変化の有無を確認できることで歯科衛生士としての役割、やりがいのある指導ができると思うので、もっと活用していきたいです。

(報告：井上杏梨 歯科衛生士・その歯科クリニック)

新 ヘルスケアオンラインサロン

第1回 2021年3月9日(火)20:30～

(ホスト：高橋 啓・渡辺 勝)

新型コロナウイルス感染症の影響により日常の生活を営めなくなって1年以上が経過しました。この状況で実際に会えない会員同士の交流を何とか図りたい、という経緯で始まったのがオンラインサロンです。コアメンバー他・高木景子さん・中本知之さんがホストとなり、若手のサポートメンバーが運営をおこなって昨年7月から毎月毎週火曜日に開催してきました。先月ホストが2週目担当のところを終了し、今までのオンラインサロンとは違った内容で、新たに会員同士の忌憚のない交流を図る目的で3月からリニューアルしました。(詳細はニュースレター vol24 no.1 18 ページ「2021年3月からオンラインサロンが生まれ変わります」を参照してください)

リニューアル第1回目ということで、どのくらいの会員が集まるのか、どんな話題になるのか興味があって参加しました。結果は十数名の方々に参加していただき、様々な意見交換をしました。

ホスト役の「最近どうですか?」という呼び掛けから、まず



は宇田川善朗さんからデンタルXのバージョンアップやウィステリアの併用について、安田直美さんからはエアフローの活用法、コロナ禍の中で新たな医療情報、各地域での患者の影響、また歯科大学・歯科衛生士学校・歯科技工士学校の現状、それ以外には新卒歯科衛生士の教育や2、3年目のスタッフの問題、さらに記録の重要性についての話題から口腔内写真のミラーの種類について、落合真理子さんからは保温器の改善開発など、様々なお話をして和やかな雰囲気の中、約1時間で終会となりました。

今現在、一般報道や地域歯科医師会からの一方的な情報しかたよりがなく不安ばかりの日々ですが、地方の一診療所として本日のオンラインサロンでは全国各地の会員の生の情報交換ができ、一緒に共感し明日からのヘルスケア診療を続けていこうと勇気をいただく貴重な企画だと思いました。

新オンラインサロンは毎月第2火曜日20時30分から開催されます。今までのような事前登録は必要なく、学会ホームページから会員サイトへログインしていただき、オンラインサロンのバーナーをクリックするだけで参加できます。当学会会員とちょっとお話されたい方は気楽に参加してみませんか?

(報告：林 浩司・はやし歯科医院)

DH オンラインサロン

第1回 2021年3月31日(水)20:30～

「基礎コース可愛い化計画」

第1回目のテーマはズバリ「基礎コース可愛い化計画」です!

今回のメンバーは山田美穂、山下真由、落合真理子、杉山麻里恵の4人です。まず「可愛い化」についての紹介をします。

このコロナの影響で基礎コースは延期を余儀なくされ、今後の講義はオンライン形式に、実習は3回に分けて行うなど今までのコースから大きな変化が必要となりました。特に今回の検定を残しての延期は、受講生の皆さんにもとても不安な思いをさせてしまっていると思います。そんななかでも受講生がもっとヘルスケアに興味を持ち、コースを楽しんでもらうにはどうすればいいのだろうか。

インスタ映えという言葉がありますが、街中には可愛いカフェや可愛いグッズなど心がくすぐられるようないろんな「可愛い」で溢れています。一方でコースで配布される資料はやや堅苦しく、実習もガチガチに緊張したまま進み、スタッフも誰が誰だか分からず交流できないまま…

このコースに足りないもの、それは親しみやすい「可愛いさ」

ではないでしょうか。もっと「可愛い」をたくさん取り入れ、受講生がリラックスして楽しめるようなコースを作っていくたい、との思いからこの「可愛い化」チームが発足しました。

今回のサロンではまず配布資料の見直しをしました。ここで出た意見は、①資料をもう少しカラフルにしたい ②オシャレなフォントに変える ③イラストなどを添えて明るい雰囲気（80年代アメリカ風にしちゃおう？なんて意見もありましたので、乞うご期待！）でした。また新しい試みとして、事前配布資料にコーススタッフのプロフィールを載せて、親しみを持ってもらえるように計画中です。

続いて実習3回分のお昼休憩の過ごし方について話し合いました。

①茶色い揚げ物お弁当より（笑）可愛いカフェみたいなお弁当が食べたい ②話題になるようなおやつを食べながら交流したい ③飲み物のボトルにwelcome!みたいなタグつけちゃう？このような意見が出ました。

コロナ禍とのこともあり今までのように懇親会で交流をすることができないので、ここでおやつタイムも設けお茶をしながら受講生同士はもちろんのこと、スタッフと受講生がリラックスしながら交流できるような時間にしたいと思います。現在可愛いお弁当やおやつを調査中です。また食事中は黙食のため、ヘルスケアミーティングの紹介や先輩歯科衛生士のインタビュー



ースライドを流す予定です。

最後に SNS の活用についても話し合いました。facebook や Twitter だけでなく基礎コースインスタグラムを開設し、コース情報や交流ができる場になればと思います。どんな状況でも楽しく、明るく、可愛い基礎コースを作っていくたいです。以上が今回のサロン報告です。

最初のことであり4人という少人数で開催しましたが、皆の協力もあり大きな問題もなく終えることができました。

今後 DH オンラインサロンでは、症例相談やセミナー、先輩歯科衛生士の対談など様々な企画をしていく予定です。皆さんにも参加してもらえるように準備していきますので、開催の際はぜひご参加ください。

（報告：杉山麻里恵 歯科衛生士・杉山歯科医院）

認証ミーティング（第18回）

2021年7月11日（第18回） AP 浜松町（東京・浜松町）& Zoom

（※会場が変更になりました。オンライン視聴可能）

7月11日の会場は東京に変更になりました。新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、一部のプレゼンターはリモートでの発表となり、審査員もリモート参加となる可能性があります。小規模でも会場開催を行う予定です。

会員は、だれでも無料でZoomのオンライン視聴が可能です。視聴ご希望の方は、学会ホームページよりお申込みください（申込みは6月18日より受付開始予定）。

認証ミーティングは、認証診療所の実態が総括的に理解できるまたとないチャンスです。Zoom オンライン視聴を申し込まれた方には、後日 YouTube でアーカイブが視聴可能です。

■ 認証審査エントリー診療所

○7月11日

すぎ歯科クリニック（兵庫県）

くりの木歯科医院（愛媛県）

わたしの歯医者さん（埼玉県）

■ 外部審査員 未定

書評

迷える歯科衛生士に届けたい ブラッシング指導物語

編著：丸森英史
著：丸森郁美／成井香／河原なつの
澤田恵／小泉百合／丸森史朗
出版：医歯薬出版 2021年3月
定価：6,930円（税込）

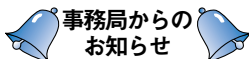
皆さんは、OHI（TBI）は好きですか？ 得意ですか？ 縁上ファストという言葉があるように、歯周治療において縁上のコントロールが最も大切なのは言うまでもありません。しかし、このOHIにおいて、テクニックを述べている書籍はたくさんありますが、患者さんとの関わりに注目して、その会話を物語として、

実際の事例をここまで詳細に記された書籍はなかったと思います。セルフケアの向上こそが鍵となる歯科治療において、「指導」という言葉のもと、ブランクがあるところを指摘して最適な磨き方を指導している医院さん、歯科衛生士さんが多いのではないのでしょうか？ もちろん、それで成果が得られているのであれば問題はありません。しかし、患者さんは十人十色。決まったやり方を、押し付けるだけでできるように、そして継続してやってくれるようになるなら、簡単なのですが… 臨床の現場ではそんな簡単にいかないですね。その患者さんとの長期にわたる言葉のやり取り、気持ちのやり取りを、この本では詳細に導いてくださいます。術者がいかに患者さんに寄り添って、気持ちを受け止め、行動変容に導いていくのか？ 様々な事例を物語として網羅しているのです。歯周治療に携わることだけでなく、対人援助職の方々すべての方に伝わる書籍となっています。歯科衛生士さんたちの症例報告だけ



でなく、各章ごとに丸森先生が根拠となる考え方をコラムとして付け加えてくださっています。コミュニケーションのようにナラティブなものは、経験則もしくは、理想論で語られがちですが、しっかりとした裏付けをわかりやすく解説してくださっているのは、現場の人間に勇気を与えてくださいます。皆さんもこの本は、繰り返し読み込んでいただくことで、患者さんとの関わりに自信を持って接することができるようになるでしょう。

（渡辺 勝・春日部市開業）

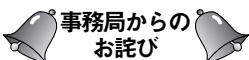


使ってみよう！ 【Zoom ミーティング】

2021年3月より、当学会ホームページ会員ページに「Zoom ミーティング予約カレンダー」を追加いたしました。このカレンダーは、学会アカウントの【Zoom ミーティングルーム使用予約】ができるページです。会員であれば、どなたでも「Zoom ミーティング」ルームの使用が可能です（1回2時間まで）。

Webでの会議を試してみたい方や、自分のフリーアカウントは40分までだから長時間使いたい方など、使用用途は問いません。使い方は同ページでご確認ください。

お問合せは事務局まで。



前号（vol.42 no.1）永年会員表彰において、対象会員の個人情報、本人の許可なく掲載したことにつきまして、お詫び申し上げます。（事務局）

譲ります

歯科治療防湿器具 ZOO（APT社）
ガス滅菌して送ります（送料着払い）



譲ってください

1月に火災により診療室が全焼した北海道加藤歯科医院さんへの支援をしています。仮診療室を設置し、徐々に機材をを揃えスタートし始めています。ナカニシバリオスハンドピース（ライト付き）を寄付していただける方がおりましたらご協力ください。

お問い合わせ、ご連絡は斉藤まで
hito-4@mse.biglobe.ne.jp


雑誌掲載

カリエスマネジメントを、臨床的に解説する
Clinical Caries Management
第3回カリエスマネジメントの実際 ICDAS 編
杉山精一
ザ・クインテッセンス3月号 p.180-192 クインテッセンス出版

カリエスマネジメントを、臨床的に解説する
Clinical Caries Management
第4回カリエスマネジメントに必要なフッ化物の知識
杉山精一
ザ・クインテッセンス4月号 p.212-223 クインテッセンス出版

もったいないオーラルケアしていませんか?
CASE4 その歯ブラシ、いつ替えました?
田村恵
nico3月号 p.8-9 クインテッセンス出版

教えて! 歯医者さん Q&A
歯がしみるときはレントゲン検査にご協力ください!
杉山精一
nico4月号 p.50-51 クインテッセンス出版

予防の常識・非常識
藤木省三
nico4月号 p.60-61 クインテッセンス出版

コロナ禍——その時、歯科は
みんなどうしてた? これからどうする?
~ COVID-19 対応の記録~
ピンチをチャンスに! 自粛期間にレベルアップ
渡辺勝
歯科衛生士3月号 p.32-33 クインテッセンス出版

コロナ禍——その時、歯科は
みんなどうしてた? これからどうする?
~ COVID-19 対応の記録~
学会コミュニティで情報を得、安心できる環境を院内で議論
曾野偉隼, 大塚杏菜
歯科衛生士3月号 p.36-37 クインテッセンス出版

これなら聞ける!
う蝕・酸蝕・歯周病の進行を防ぐ食習慣インタビュー
[後編] う蝕のための確認事項&いやがられないコツ
井上和
歯科衛生士3月号 p.48-61 クインテッセンス出版

院内でスマートに身をこなす
コミュニケーションのヒント⑦ 同僚歯科衛生士とのかかわり②
同期&後輩編
年名淳
DHstyle3月号 p.82-85 デンタルダイヤモンド社

院内でスマートに身をこなす
コミュニケーションのヒント⑧ 歯科助手や受付とのかかわり
年名淳
DHstyle4月号 p.106-109 デンタルダイヤモンド社

魂のハイジーンワーク
よくある悩みにお答えします!
奥山洋実
DHstyle3月号 p.86-88 デンタルダイヤモンド社

魂のハイジーンワーク
学童期~思春期のメンテナンスで何を伝えていますか?
奥山洋実
DHstyle4月号 p.110-112 デンタルダイヤモンド社

スタッフ採用 これが決め手
自ら成長していくことをサポートする。
それが院長の唯一の仕事
渡辺勝
デンタルダイヤモンド3月号 p.104-107 デンタルダイヤモンド社

この道30年 専門家が教える誠のスタッフ教育
「改革の日は今日です」という話
井上和
デンタルダイヤモンド4月号 p.238-239 デンタルダイヤモンド社

治る歯髄 治らない歯髄
~歯髄保存に失敗する本当の理由~
泉英之
日本歯科医師会雑誌3月号 p.4-14

大人のう蝕リスクとその対処を考える
~国際標準化の動きを視野に入れて~
桃井保子
日本歯科医師会雑誌3月号 p.20-28



■ 訃報 ■

昨年来、事務局で把握した会員の訃報は次のとおりです。長年の地域歯科医療へのご貢献を讃えるとともに本会へのご協力を謝し、心からお悔やみ申し上げます。

木津 敏統 様 (北海道岩見沢市) 令和2年 6月 11日歿, 享年 58 (56歳)
山本 邦夫 様 (大阪府池田市) 令和2年 9月 21日歿, 享年 67 (66歳)
近藤 保麿 様 (大阪府河内長野市) 令和2年12月 19日歿, 享年 65 (64歳)
小澤 一友 様 (茨城県常陸太田市) 令和3年 2月 4日歿, 享年 72 (71歳)



ヘルスケア フォーラム

第1回 関東実践セミナー 報告

2019年9月21日～2021年2月12日

後半はオンラインで終了
今後、オンライン実践セミナーとして



渡辺 勝（春日部市開業）

2019年の9月21日から始まった関東初の実践セミナーが日程予定を大幅に変更しましたが2月12日で無事終了しました。講師として関わってくださった方々そして第二回の大阪の実践セミナーに参加して今回はサポート役として様々なフォローをしてくださった田中勝幸さん、田端壮さん、丸山修平さん、杉山修平さん、本当にありがとうございます。今回の実践セミナーは4人のフォローがあったからこそ参加者のヘルスケア歯科診療に対する取り組みがバラバラでもやり遂げることができたかと思えます。

当初2日間の合宿を二回行うことを予定していました。前半の二日間はクロスウェーブ船橋にて行われました。主としてヘルスケア歯科診療の基礎基本を学び直すことを目標としカリオロジーを杉山精一さん、ペリオドントロジーを藤本省三さんから話していただきました。お二



人ともヘルスケアで病因論を何度も話していただいているのですが、実践セミナーではより診療室で落とし込めるように理論と現場での応用を関連づけて講演内容を組み立ててくださっています。

そして夜の懇親会の会場ではこれらをさらに理解を深めるために高橋啓さんから昼間のセミナーのさらに解説をしていただくという手厚さでした。参加者はお酒も入った状態ではありましたが、講師の話をも身近に聞くことができリアルな質問もできたことでより深く落とし込めたかと思われま。

そして2日目はチーム医療のポイントについて田中正大さん、高橋さんから自分たちの事例を元に具体例と考え方をプレゼンしていただきました。

初日で漠然と思いついていた診療に必要な学術的な内容を「いかにして実践しているか？」の模擬体験ができたかと思われま。そして午後、藤木さんより時間軸とチーム医療に関してまとめていただき、最後参加者自身が各々の課題と次回までに実践する目標を決め決意表明で終了しました。セミナー中は常にサポーターの方々が4人に一人の割合でグループワークに入り参加者の個別の疑問点などに答えてくださいました。藤木さんと田中さんから一人ずつ課題についてのアドバイスをいただき、さらにはグループ内で共有できたことにより参加者みんなが自分ごととして捉えることができた貴重な体験だったと思われま。実行に移すにあたり勇気づけられたのではない



2019年リアル開催時の様子

でしょうか。

本来なら2020年の3月に2度目の合宿に入る予定でしたが、残念ながらコロナ禍によりやむなくオンライン開催に変更となりました。運営メンバー、サポートメンバーで話し合い決定したことはありませんでしたがパソコンを持っていない方、パワーポイントを使ったことがない方、メールをやったことがない方などネットリテラシーが弱い方もいたなかでの決断は勇気がいるものでした。

サポートメンバーの方々が各々工夫をしてくださり4人組に別れてLINEグループやファックスなども併用して参加者が合宿を通してどのように自分の医院を変化させたのか？これからどのようにしていこうと思っているのか？パワーポイントにまとめました。参加者のネット環境がバラバラだったのでいきなりプレゼンをするのではなく各々の小グループで事前に2回ほどプレゼンする機会を設けて3回目のプレゼンのときには、コアメンバーの方々にも参加していただき個別の温かいコメントをいただくことができました。どの参加者の方も自分の課題に前向きに取り組む自分の診療室を変化進化させていたことが伝わり主催者としても嬉しい時間を過ごせました。

仕上げは2021年の1月14日に高橋さんによる「メンテナンス」そして2月12日に渡辺から「grit（やり抜く力）」についてプレゼンをさせていただき参加者さんの今後に繋げられるようにして締めました。

これまで実践セミナーに参加して下さった方々は今年の認証にもチャレンジ

している医院さんもたくさんいらっしゃいます。今までのようにリアルで集まったの合宿型の実践セミナーは今後は難しいかもしれません。しかし各医院が実際の診療現場を大幅に進化させることがで

き、そして認証を取得できる力をつけるのに最適なこの実践セミナーは、今後は形を変えてオンライン実践セミナーとして生まれ変わります。2022年からの開催になるかと思われませんが、皆さんもぜひ

ぜひ参加してください。病因論から医院マネジメントまでしっかりと落とし込める内容となっております。皆様とお会いできること楽しみにしています。

○ 参加者からのコメント

今回セミナーに参加して院長としての自分、医院の事を客観的に見直すよい機会になりました。またコロナ渦でみなさんとオンラインで継続的なかわりをさせていただいたことは却ってよかったなと思います。亀のようにあゆみののろい私ですが一歩一歩進んでいきたいと思ひます。(高澤淳仁・高澤歯科クリニック)

口腔内写真、X線撮影等、基本の精度をひたすら磨く大切さを学ばせていただきました。今後も宜しくお願いいたします。(島野圭介・島野デンタルオフィス)

様々な診療所、先生、スタッフが様々に取り組みを続けている姿に奮い立たされ、自分も日進月歩の気持ち継続。(有賀渚紗・リーフ総合歯科)

藤木先生や田中先生といった先生方の症例や取り組みを学び議論でき、とても勉強になり刺激になりました。(大手一恵・板橋区志村坂上ゆき歯科医院)

セミナーを通してヘルスケア診療所とは院長だけでなくチームで作るものであるということを再認識しました。(大手有紀・板橋区志村坂上ゆき歯科医院)

日本ヘルスケア歯科学会のセミナーは上手いかなかったことを教えてくれる(他のセミナーはいいところだけみせる)。仲間を作り、仲間と共に学び、成長することの大切さを再確認しました。(安田直美・クリスタル歯科)



ウェビナー告知板

参加希望される方は学会ホームページよりお申し込みください。お申込み後、自動で申込完了メールが届きます。Zoom ミーティングの URL が記載されていますので、こちらからご参加ください。もしメールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

□ Web セミナー (参加費：3,000 円)

- 27回 2021年5月12日(水) パネリスト：杉山精一
2021 カリエスマネジメントセミナー 第3回【全7回】
- 28回 2021年5月26日(水) パネリスト：斉藤仁
未定
- 29回 2021年6月2日(水) パネリスト：杉山精一
2021 カリエスマネジメントセミナー 第4回【全7回】
- 30回 2021年6月9日(水) パネリスト：田中正大
web ベーシックセミナー第1回【全3回】
メンテ患者の減らないヘルスケア歯科診療所の秘密とは

□ 新オンラインサロン (参加費無料) 毎月第2火曜日

- 2回 2021年5月11日 ホスト：高橋啓 渡辺勝
- 3回 2021年6月8日 ホスト：高橋啓 渡辺勝
- 4回 2021年7月13日 ホスト：高橋啓 渡辺勝

※ウェビナーの参加費をヘルス通貨(日本ヘルスケア歯科学会内互助通貨)と交換にて後日返金することが可能です。申込は PayPal 支払いでの登録が必須となっておりますので、申込後にヘルス通貨使用の旨を事務局にメールまたは FAXにてお知らせください。お持ちのヘルス通貨を確認後、返金手続きいたします(返金手数料は事務局負担)。1セミナー：5ヘルス



Web セミナー



オンラインサロン

「人生 100 年時代のカリエスマネジメント」

2021 年 10 月 10 日 (日) 10:00 ~ 16:00

KFC ホール (東京・両国) および Zoom ウェビナー (YouTube 配信あり)

東京都墨田区横網 1-6-1 国際ファッションセンタービル (<https://www.tokyo-kfc.co.jp/>)

カリエスリスク研究で著名なコペンハーゲン大学のトゥエットマン教授を招き、大阪大学の林美加子教授とともに「人生 100 年時代のカリエスマネジメント」をテーマにシンポジウムを開催します。

プログラム (仮)

企画趣旨

杉山 精一 (日本ヘルスケア歯科学会代表 八千代市開業)

生涯にわたるカリエスマネジメント ICCMS

林 美加子 (大阪大学大学院歯学研究科 教授)

カリエスリスクアセスメント 考え方の変遷と今後

Svante Twetman (コペンハーゲン大学 名誉教授)

通訳 石塚 洋一 (東京歯科大学)

新しいカリエスリスクアセスメント CRASP

杉山 精一

カリエスマネジメント長期症例 (小児若年者, 成人, 高齢者)

コアメンバー

ディスカッション



Svante Twetman (スヴァンテ・トゥエットマン), DDS, PhD, Odont. Dr.

デンマーク・コペンハーゲン大学保健医療科学部カリオロジーおよび小児歯科講座教授を経て現在同大学名誉教授

2010 年 IADR Distinguished Scientist Award 受賞

2011 年 IADR Borrow Award 受賞

スウェーデン王立カロリンスカ大学卒, 同大学歯学部で博士号を取得. 主な研究テーマは, 口腔疾患のリスク評価と予防, 特にフッ化物, 抗菌剤, 糖代替物, プレ・プロバイオティクスに重点を置いた口腔内と微生物の生態に焦点をあてた研究. その研究は大部分が臨床の場で行われている. 先進国だけでなく発展途上国でも世界各地で講演を行い, いくつかの教科書の著者で, 多数の科学論文を発表している.



林 美加子 大阪大学大学院歯学研究科 教授

大阪大学歯学部卒業後, 1994 年から同大歯学部附属病院助手, 2005 年講師, 2011 年准教授を経て, 2012 年より歯学研究科教授 (口腔科学専攻)

2017 年 IADR Innovation of Oral Care Award 受賞

2018 年 一般社団法人 Alliance for a Cavity-Free Future 日本支部設立